

オンライン授業事例

① 授業の基本情報

保健医療技術学部・臨床検査学科、科目名；微生物検査学実習Ⅱ、配当学年；3年次
履修者数；78名、授業形態；オンライン・対面実習併用型

② 教員の基本情報

眞野 容子、保健医療技術学部・准教授

③ 学生のコメント

【良いと思われる点】

- ・スライドが見やすく、何を抑えるべきか、どこがポイントか分かりやすく、自分の理解できている点や足りない点をはっきりさせられる授業であった。
- ・スライドを読んで解説するのではなく、語り掛けるような話し方や質問が含まれていて聞きやすかった。
- ・動画にマーカーや赤ペンを用いて講義されていたので、どこを説明しているかよくわかった。
- ・各動画が短くまとめられていて話し方、話すスピード、合間の雑談で集中力が切れないうまま、最後までその項目の動画を視聴できた。
- ・大切な内容が強調されていて、また、スライドに写真が多く講義が受けやすかった。
- ・実習できなかつた培地のコロニーなどはオンデマンドであったが、先生ならではの表現が面白く、写真であったがイメージできた。

【問題点】

- ・理解出来ていても覚えるまでに至らないため要点をまとめたレジュメが欲しい。
- ・対面実習の早い班と遅い班があり、動画を視聴できる日程に差があつて不公平さを感じた。
- ・限られた時間内の実習であったため、対面実習の授業が早すぎてついていけなかつた。
- ・対面実習できなかつた課題（レポート）が分かりづらく書きにくかつた。

④ 授業をオンライン化するにあたって心がけたこと（工夫点、苦勞）

【工夫点】

- ・集中して視聴いてもらうため、項目ごとの動画を20～30分にまとめた。
- ・一人の学生に話しかけるように、また、重要な内容を把握してもらうため話すスピードに変化をつけて録音した。
- ・飽きさせないよう、身近なことに話題を展開し記憶に残るように講義した。

- ・質問をして考える時間をとった。解答時間にヒントを話すことや、スライド内に赤ペンを使用して盛り込んだ。
- ・ビデオを用いて操作方法を録画・説明し配信した。

【苦勞】

- ・本来、学生自身に実習してもらい、実際の五感で体験してほしい内容であるが、オンラインを通じてどうやってこの教科の特徴を伝えるか。
- ・対面実習期間が少なかったため、無菌操作・基本的操作技術をどう伝授するか。

⑤ 今後のオンライン授業に向けて

学生からのアンケートで良かった点を生かし、問題点は可能なことは改善する。今回は出来なかったグループチャットなどで議論をするという授業スタイルも思案している。ビデオでの動画を配信することも継続する。

出欠確認は Forms にてクイズ形式小テストを実施し、課題なども提示してもらい学生の理解度を確認したいと考えている。

⑥ 授業資料等

別紙添付